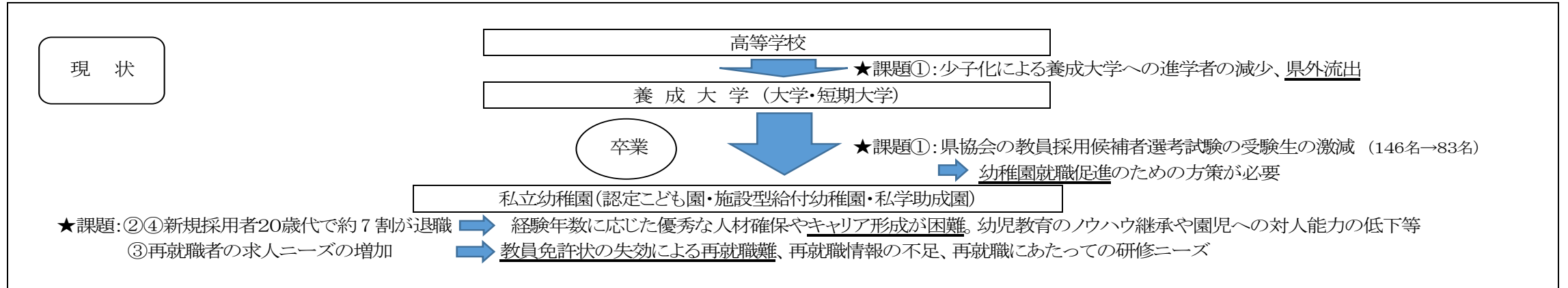


【事業の趣旨】

少子化等の進行や就労環境の変化等により、私立幼稚園の教員不足が常態化しつつあることから、人材確保や幼稚園運営の活性化、幼児教育の質の確保を図るため、調査研究を行う。



〈 調査研究 〉 実行委員会(部会)

連携:山口県、幼児教育センター、養成校、社労士会、幼稚園

採用部会		働き方改革部会	
① 新規採用の促進	③ 離職者等の再就職の促進	② 幼稚園教諭の離職防止・定着促進	④ その他
① 県政策及び養成大学との連携 ○ 学生就職アンケート調査実施 ○ 幼稚園紹介小冊子「ガイドブック」配布 ○ 県内外の養成大学との意見交換会開催 【成果】 ※「教育実習」は学生にとって適性を見極める重要なターニングポイント ※ 学生への情報提供はSNS利用で直接 ※ 協会の教員採用候補者選考試験にはメリットの付与を ② 就職支援ニーズの調査研究 ○ 新規採用教諭へのアンケート調査実施 【成果】 ※ 風通しのよい職場を希望 ※ 就職前に多くの幼稚園の見学や幼稚園に就職した先輩の話を聴きたかった。(知る機会の拡大)	① 県協会のホームページでの求人・求職マッチングサイトの構築 ○ 「幼稚園ナビ」の求人情報閲覧サイトを開設 * 個人情報の登録不要のアカウント設定 ○ 広報用にフリーペーパー紙記事掲載(全県配布) 【成果】 ※ 一定のアクセス数(78件)はあったが具体的な再就職につなげていく方策が課題 ② 再就職ニーズの課題把握 ○ 再就職教諭へのアンケート調査実施 【成果】 ※ 再就職教諭は、勤務時間(始業時刻・終業時刻:52%)や通勤時間の短さ(42%)に関心があり、仕事と家庭との両立を求めている。 ※ 教員免許状更新関連の支援要望が多。(更新制度は法改正により廃止予定)再就職のための準備金・支度金の要望あり。	① 理事長・園長人材育成マネジメント研修会 ○ コロナ禍でオンライン研修会となった。 ○ 若手教諭(採用後10年前後)への働き方についてのアンケート調査実施 【成果】 ※ 研修会に加盟園(120園)のうち51園参加 残業「0」に向けた実例、「働き方改革」の最近の動向を講義。終了後アンケート調査で回答者31名のうち78%が評価 ※ 若手教諭は、勤務時間が長い(43%)、有給休暇の取得がしにくい(33%)と考えている。 ※ 職場へ望むものは、給与等の処遇改善、有給休暇の取得、勤務時間の短縮 ※ 引き続き、理事長・園長への人材育成のためのマネジメント研修が必要 (時間外勤務削減モデル事例、中堅教諭の育成、組織マネジメント、PC活用事例等)	① 教員の質の向上のための調査研究 ○ 山口県乳幼児の育ちと学び支援センターとの協議 ○ 人材確保にかかる理事長(設置者)・園長アンケート調査実施 【成果】 ※ 幼稚園は勤務時間の弾力化などに有効なパートタイム教諭の雇用に積極的 ※ 教諭の質の確保と向上には、給与等の改善、初任者から園長までの各段階に応じた研修プログラムの策定を求める意見が多。 ※ 一種免許状の取得促進には、センターでの認定講習の継続的な実施が不可欠。 ※ 研修を受けさせる余裕がない幼稚園が多いことから、オンライン研修(処遇改善IIと連動)の拡大を行う必要がある。 (参考) 山口県の私立幼稚園の教員免許保有率 1種15.1%、2種84.5%